

Introduction

十六銀行の歴史・考え方・経営計画がわかる！

- 01 目次
- 02 ごあいさつ
- 03 じゅうろくのあゆみ
- 04 当行の基本理念
- 05 第14次中期経営計画

2017年度業績ハイライト

十六銀行の経営状況がわかる！

- 07 事業の概況

RELIABLE BANK!

十六銀行の進化がわかる！

- 13 東海東京フィナンシャル・ホールディングスとの包括的業務提携
- 14 新しいスタイルの店舗運営

特集 -海外ビジネスサポート-

皆さまの海外事業展開への支援状況がわかる！

- 15 ハノイ駐在員事務所の開設

十六銀行のCSR

様々な取組状況がわかる！

- 17 地域経済のために
- 21 地域の皆さまとのお取引状況
- 23 地域社会のために

十六銀行のESG

ESGへの取組状況がわかる！

- 25 環境 Environment
- 社会 Social
- ガバナンス Governance

商品・サービスガイド

十六銀行の商品とサービスがわかる！

- 27 法人の皆さまへ
- 29 個人の皆さまへ
- 31 ATMネットワーク
- 33 各種お問い合わせ先

株式についてのご案内

十六銀行の株式のことがわかる！

- 34 株式事務のご案内等

十六銀行の概要

十六銀行の経営陣や組織のことがわかる！

- 35 役員
- 36 組織
- 37 店舗ネットワーク
- 41 店舗外キャッシュコーナー一覧
- 42 主要な業務

行章



「十」が6個で「十六」銀行を意味するとともに、「十」の字を人間模様と考え、全職員が手をつなぎ、和（輪）を誓い心を一つにして前進することを示しています。

当行の概要

創業

明治10年10月

本店所在地

岐阜市

資本金

368億円

従業員数

3,192人

預金等残高

※譲渡性預金含む

5兆5,237億円

貸出金残高

4兆2,335億円

営業拠点数

- ・本支店…………… 149か所
- ・出張所…………… 12か所
- ・付随業務取扱事務所 …… 1か所
- ・ローンサービスセンター …… 17か所
- ・海外駐在員事務所 …… 4か所
(上海・シンガポール・バンコク・ハノイ)
- ・店舗外ATM …… 262か所

(2018年3月31日現在)

ごあいさつ

私たちは、「**エンゲージメント1st**」の取組みを一層強化し、「お客さまから必要とされ、お客さまとともに成長する金融グループ」を目指して進化し続けます。

平素より十六銀行をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

ここに、当行の営業の概況や2018年3月期決算の状況を皆さまにご理解いただくため、ディスクロージャー誌を発刊いたしました。

地域金融機関を取り巻く環境をみますと、低金利環境の長期化など厳しい経営環境が続いております。また、地域経済は人口減少や少子高齢化の進展という構造的な課題を抱えており、将来的な市場規模の縮小が懸念されております。こうした状況を背景として、地域金融機関には、お客さまの成長をサポートすることにより、地域経済の活性化・発展に寄与していくことが強く求められております。

かかる課題に対処するため、当行は2017年4月より、『第14次中期経営計画』All For Your Smile ころこにひびくサービスを～2nd Stage～を開始しており、「お客さまから必要とされ、お客さまとともに成長する金融グループ」を目指し、「エンゲージメント1st」を行動基軸として、お客さまおよび地域経済の成長への貢献と、地域を支えるための安定性・永続性のある収益構造が好循環するビジネスモデルへの変革をはかっております。

こうした転換期にある中、多様化するお客さまのニーズや急激に変化するビジネス環境に合わせたスピーディな営業変革に努めるとともに、従前より取り組んでまいりました業務改革を一層推し進め、「お客さま本位」の良質なサービスを提供することにより、将来にわたりお客さまから頼りにしていただける銀行であり続けるよう、一層の企業価値の向上に邁進してまいります。

皆さまにおかれましては、今後とも引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

2018年7月

取締役頭取 **村瀬幸雄**



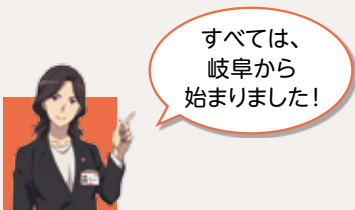
じゅうろくのあゆみ

明治10年(1877年)10月、第十六国立銀行として創業して以来、地域社会や産業界から厚い信頼をいただき歩み続けてきました。



明治

- 10年 10月 第十六国立銀行創業
- 29年 12月 株式会社十六銀行と改称



旧本店(岐阜市)

昭和

- 9年 11月 外国為替業務を開始
- 26年 12月 名古屋支店を開設
- 28年 4月 資本金を4億円に増資
- 7月 東京事務所を設置
- 31年 4月 東京支店を開設
- 35年 3月 資本金を8億円に増資
- 4月 大阪支店を開設
- 44年 4月 資本金を24億円に増資
- 10月 名古屋証券取引所第二部上場
- 46年 6月 資本金を40億円に増資
- 47年 6月 事務センター竣工
- 9月 東京証券取引所第一部上場
- 48年 4月 資本金を57億7千万円に増資
- 50年 7月 全店総合オンライン完成
- 9月 資本金を75億1百万円に増資
- 52年 4月 海外コルレス業務を開始
新本店竣工
- 10月 創立100周年
- 53年 4月 資本金を78億7千6百5万円に増資
- 54年 12月 総預金1兆円達成
- 56年 10月 資本金を100億円に増資
- 57年 7月 第2次オンラインシステム完成
- 8月 コルレス包括承認銀行に昇格
- 58年 4月 公共債の窓口販売開始
- 60年 6月 債券ディーリング業務を開始
- 61年 12月 資本金を132億円に増資
- 62年 9月 総預金2兆円達成
- 10月 創立110周年
第1回無担保転換社債の発行



本店(岐阜市)

平成

- 元年 10月 中間発行増資総額120億円
 - 2年 3月 総預金3兆円達成
 - 3年 3月 中間発行増資総額83億円
 - 5年 3月 上海駐在員事務所を設置
 - 5月 第3次オンラインシステム完成
 - 7月 十六ビル竣工
 - 11月 代理店方式による信託業務参入
 - 6年 3月 名古屋ビル竣工
 - 7年 10月 中間発行増資総額151億円
 - 12月 東京三菱証券と社債関連業務に関する包括提携
 - 8年 10月 「じゅうろくローンサービスセンター」を開設
 - 9年 8月 十六地域振興財団設立
 - 10月 創立120周年
 - 10年 12月 証券投資信託の窓口販売開始
 - 11年 11月 電算センター竣工
 - 12年 3月 十六フロンティア投資事業有限責任組合設立
 - 13年 4月 保険商品の窓口販売開始
 - 5月 ISO14001認証取得
 - 11月 中部金融M&Aネットワーク発足
 - 16年 4月 ブロック制スタート
 - 17年 3月 証券仲介業務を開始
 - 19年 7月 地銀共同化システム稼働
 - 10月 創立130周年
 - 21年 1月 岐阜銀行と業務資本提携契約締結
 - 22年 12月 総預金4兆円達成
岐阜銀行を株式交換により子会社化
 - 23年 4月 第12次中期経営計画スタート
 - 24年 4月 名古屋支店を名古屋営業部へ昇格
 - 9月 岐阜銀行との合併
 - 12月 預金等残高5兆円達成
 - 25年 6月 株式会社十六総合研究所を設立
 - 26年 4月 第13次中期経営計画スタート
 - 27年 3月 シンガポール駐在員事務所を設置
バンコク駐在員事務所を設置
 - 28年 4月 外貨両替ショップを開設
 - 29年 4月 第14次中期経営計画スタート
 - 10月 創立140周年
 - 30年 3月 ハノイ駐在員事務所を設置
- 東海東京フィナンシャル・ホールディングスとの
包括的業務提携に合意



十六銀行名古屋ビル
(名古屋)

当行の基本理念

基本方針

十六銀行は
金融機関としての公共的
使命を遂行することによって
地域社会に奉仕する。

十六銀行は
広い視野に立ち、
つねに合理性を貫き堅実な
経営により発展をはかる。

十六銀行は
すべての職員が安定した
生活ができるよう
努力する。

経営方針

頼りにして いただける銀行

当行が歩む道一それは地域社会を離れてはありえません。地域社会との緊密化を深め、豊かで住みよい地域社会を築くことが、当行に課せられた使命です。お客さまの立場に立って行動し、総合金融サービスの拡充に努めるとともに、地元企業の育成、地域開発への参画等、地域中枢金融機関として、皆さまから一層頼りにしていただける銀行になるよう努力しています。

充実した銀行

お客さまのニーズに即応し、質の高いサービスを提供していくには、経営体質が強固でなければなりません。このため、収益力の強化、資産の健全性の維持・向上に努め、リスク管理を徹底するとともに、経営全般にわたる合理化・効率化を推進しています。

行動する銀行

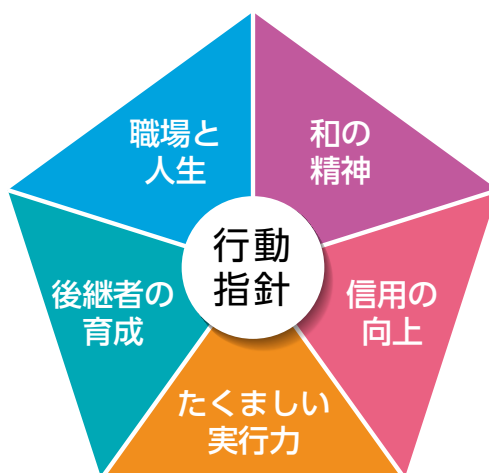
激変する環境にあっても、金融機関としての機能を最大限に発揮する原動力は、高いモラルをもった活力ある人材であり、強靱な組織力です。誠意を尽くし高度な知識をもって、皆さまのお役に立つことができる人材育成に取り組むとともに、変化に柔軟かつ的確に対応できる組織づくりに努めています。

職場と人生

われわれは仕事を通じて社会に奉仕する。職場は自己を成長させ、幸福をもたらす場であるとの自覚に立ち、つねに最善をつくそう。

後継者の育成

後継者の育成はわれわれの責任であり誇りである。明日の経営に自己を活かすことを考え、より良い後継者を育てよう。



和の精神

信頼と協力は明るい職場をつくる。相たずさえて心からの和を誓おう。

信用の向上

銀行の生命は信用である。誠意をもって人に接し、熱意をもって仕事に当り、信用の向上に努めよう。

たくましい実行力

実行は明日を創造する。
信念と勇気をもって仕事をすすめよう。

第14次中期経営計画



2017年4月より、2017年度から2019年度までの3か年を計画期間とする『第14次中期経営計画』All For Your Smile ころにひびくサービスを～2nd Stage～をスタートさせました。本計画で当行は、「エンゲージメント1st」によってお客さまとの強固な信頼関係を築きあげることが最優先の行動基軸とし、6つの基本戦略である「お客さまとの接点の拡大および期待を上回る提案力の発揮」、「地域の課題への主体的な関与」、「地域別戦略」、「資金運用力の向上」、「競争を勝ち抜くための経営効率向上」、「行員一人ひとりの活躍支援」に取り組むことで、「お客さまおよび地域経済の成長への貢献」と「地域を支えるため安定性・永続性のある収益構造」が好循環するビジネスモデルへの変革をはかっています。こうした取組みを通じて、「お客さまから必要とされ、お客さまとともに成長する金融グループ」を目指しています。

取締役頭取 **村瀬幸雄**

第14次中期経営計画

基本戦略

本経営計画における次の基本戦略を断行し、
当行グループを取り巻く課題に適切に
対処してまいります。

お客さまとの接点の拡大および期待を上回る提案力の発揮

お客さまの幅広いニーズや課題に真摯に向き合う
営業態勢を構築するとともに、当行グループとしての
総合力を発揮してまいります。

法人のお客さま

事業性評価等を通じて、適切にリスクテイクし金融仲
介機能を発揮していくほか、お客さまの成長ステージ
に応じたご支援などお客さまの課題解決に取り組んで
まいります。

個人のお客さま

ライフステージに応じた商品・サービスの提供やニー
ズの喚起により総合取引等を推進してまいります。ま
た、地域に応じた店舗運営や非対面チャンネルの拡充に
よりチャンネル機能の向上をはかってまいります。

地域の課題への主体的な関与

地元自治体の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を
当行グループでご支援していくほか、地域開発プ
ロジェクトへ積極的に参画するなど地域に対する責
任を果たしてまいります。

地域別戦略

岐阜県においては、充実した店舗網や情報量を背
景として地域金融仲介機能を発揮するなど絶対的
な営業基盤を確立してまいります。

愛知県においては、経営資源を重点投入してい
くほか、マーケットの成長力を活かし取引基盤を拡充
するなどさらなる存在感を発揮してまいります。

資金運用力の向上

市場環境の変化に柔軟に対応した投資対象の多様
化など有価証券運用力を向上させていくほか、多様
な金融手法の活用等にも取り組んでまいります。

競争を勝ち抜くための経営効率向上

業務改革を加速させていくほか、人口動態等を見
据え効率的な店舗運営に取り組んでまいります。
また、本部組織のスリム化など人員配置および人員
数のさらなる適正化をはかってまいります。

行員一人ひとりの活躍支援

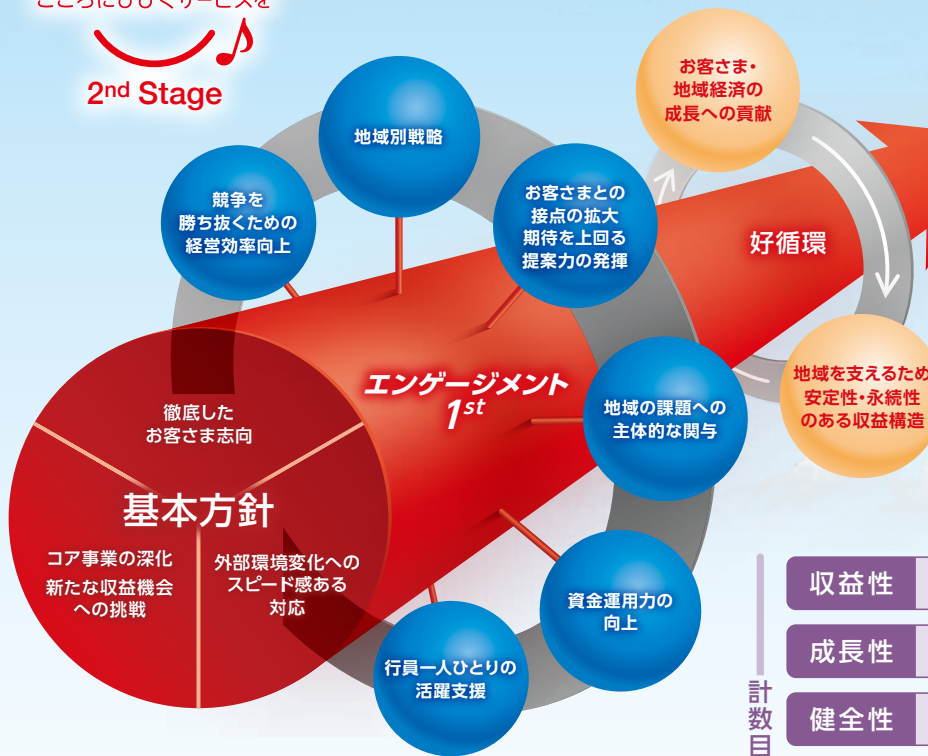
当行という場を通じてお客さま、地域に貢献できる
人材の育成に注力してまいります。また、行員の挑
戦を促す仕組みを検討するなど働き方改革にも取
組んでまいります。

All For Your Smile

こころにひびくサービスを



2nd Stage



Juroku Group

長期ビジョン

お客さまから必要とされ、
お客さまとともに成長する
金融グループ

収益性

当期純利益(連結)

最終年度
100億円

成長性

地域プレゼンス
(預金等平残+貸出金平残)

最終年度
10兆円

健全性

自己資本比率(連結)
(完全実施ベース)

最終年度末
8.7%程度

計
数
目
標

●当期純利益(連結) = 親会社株主に帰属する当期純利益
●自己資本比率(連結) = $\frac{\text{連結自己資本(経過措置適用前)}}{\text{連結リスク・アセット等(経過措置適用前)}}$
(完全実施ベース)

●長期的に目指す指標

収益性

ROE(連結)

5%以上

中長期的な視点から
企業価値を高め、
成長していく戦略を
たてています!

十六銀行で
受け継がれている
心得です!



そのもと すえ ～其の本栄えて末栄える～

当行には、「行員心得十則」という基本方針が明治の時代からあります。

「行員心得十則」の一番目は、「其の本栄えて末栄える」という教えから始まります。

これは、本(もと)であるお客さまが栄えることで、やがては末(すえ)に位置する銀行が栄えることにつながることを説いています。

お客さま本位の考え方は今に始まったものではなく、現在に至るまで脈々と受け継がれております。

当行の役職員はこれからも「徹底したお客さま志向」のもと、行動してまいります。